

心と心 が通うまち喜入  
校区まちづくりプラン

第2期（2022年～2026年）



喜入校区まちづくり協議会

# 目 次

## I 喜入校区の概要

1 校区の概要	1
2 校区の施設・文化財等	2
3 校区の町内会（集落・自治会）	5

## II プラン策定について

1 プラン策定の趣旨	9
2 第1期の成果と課題	9
3 計画の期間	9

## III 喜入校区の現状と課題

1 まちづくりについて	10
2 社会体育について	11
3 青少年育成について	12
4 福祉について	13
5 安心安全について	14

## IV まちづくりの目標

1 目標<スローガン>	15
2 運営方針	15
3 活動の体系図	16

## V 事業計画

1 ふるさと部会	17
2 社会体育部会	18
3 福祉・青少年育成部会	19
4 安心安全部会	21

## VI 資料

1 プラン策定の経過	22
2 プラン策定委員会委員名簿	22

# I 喜入校区の概要

## 1 校区の概要

喜入校区は、喜入地域のほぼ中央に位置し、旧市・麓東・麓西・宮地・湊田・旧麓・仮屋崎・野元・領南・まち・大丸の11町内会で成り立っている。面積は約11.93k㎡、人口約4,150人、世帯数1,750世帯である。校区の中央を地域で一番長い八幡川が流れ、住宅地域、広い田園地域、山間部に分かれ、東側は錦江湾に面している。

校区には、鹿児島市役所喜入支所・喜入公民館・南消防署喜入分遣隊などの公共施設、銀行・郵便局・スーパーなどの商業施設、喜入小学校及び喜入地域内唯一の中学校、総合運動場（総合体育館）・鹿児島ユナイテッドFCトレーニングセンター、商工会・漁港等があり、喜入地域の人々の生活の拠点になっている。

また、喜入校区は中世より喜入地域の中心として栄えたところで、給黎城跡・肝付家墓地・刀匠玉置家墓地・日本遺産に選ばれた旧麓の石垣や水路、肝付家仮屋跡など文化財の多いところである。

## 2 校区の施設・文化財等

### 校区の施設等

喜入校区公民館  
鹿児島市役所喜入支所  
喜入公民館  
喜入園（養護老人ホーム）  
南消防署喜入分遣隊  
喜入地区保健センター  
喜入小学校                      喜入中学校  
喜入児童クラブ  
喜入幼稚園                      喜入保育園  
喜入交番                          喜入駅  
マリンピア喜入  
喜入総合運動場  
商工会喜入支所  
喜入町漁業協同組合  
JAいぶすき喜入支所  
喜入郵便局                      鹿児島銀行  
南日本銀行  
鹿児島ユナイテッドFCトレーニングセンター

### 校区の文化財等

給黎城跡（旧麓）  
肝付家墓地（旧麓）  
肝付家仮屋跡（麓東）  
香梅ヶ淵（旧麓）  
旧麓景観地域（旧麓）  
自現坊滝の磨崖仏（湊田）  
萬松山清涼院跡（麓西）  
刀匠玉置家墓地（麓西）  
伊牟田尚平誕生地（旧市）

### 神社・仏閣

ほむすび  
火産霊（愛宕）神社（旧市）  
宮坂神社（宮地） 鎮守神社（湊田）  
南方神社（旧麓）  
えびす神社（まち）  
善行寺（まち）

### 校区の団体等

喜入校区社会福祉協議会  
喜入校区消防団  
喜入校区高齢者クラブ  
喜入校区お達者クラブ  
喜入校区あいご会連絡協議会

### 校区の伝統芸能

宮地棒踊り  
仮屋崎早乙女踊り  
旧麓豊年踊り

### 校区の世帯数・人口

世帯数 1,753 戸 人口 4,157 人  
65 歳以上 1,386 人(31.8%)  
(R4.1.1 住民基本台帳人口)



喜入校区公民館



鹿児島市役所喜入支所・喜入公民館



南消防署喜入分遣隊



喜入小学校（肝付家仮屋跡）



喜入中学校



喜入幼稚園



喜入保育園



喜入交番



喜入駅



マリニピア喜入



喜入総合運動場



喜入郵便局



喜入地区保健センター



鹿児島ユナイテッドFC トレーニングセンター



肝付家墓地



香梅ヶ淵



旧麓景観地域



自現坊滝の磨崖仏



刀匠玉置家墓地



萬松山清涼院跡



伊牟田尚平誕生地碑



へたっこや（灰焼窯）

### 3 校区の町内会

#### 宮地自治会

宮地は宮坂神社を中心に、歴史と伝統、人と人とのつながりのある自治会です。

#### 麓西集落

こよなく麓を愛する私たちは、仲良く共に力を合わせ、進んで行事に参加しお互いの連帯感を高め、明るく住みよい地域づくりに努めてまいります。

#### 湊田集落

校区一の高台に位置し、自然豊かで空気もうまく、また、起伏に富んだ散歩コースも多数あり、体力づくりにそして住むには最適な環境の集落

#### 旧麓自治会

県内外からたくさんの人々が、歴史探訪に来る、また自治会の皆さんが笑顔で明るい自治会です。

#### 仮屋崎自治会

田んぼも、易しい人も多い、みんなの絆が深く、ホタルも見られる集落です。

#### 野元集落

田んぼや畑の四季が美しく、たくさんの生き物が育つ、人の心も豊かに育つ集落です。

#### 領南自治会

自治会、青壮年会、実年会、あいご会等それぞれの組織で様々なイベントを通じ交流を深め、自助・共助のできる自治会を目指しています。

#### 旧麓自治会

石油タンクを目の前に、潮風を受けて、元気よく協力し合う旧市自治会です。

#### 大丸自治会

新年会や敬老会などの活動を行い住民との絆を深めている。また、鹿児島島ユナイテッドトレーニングセンターの施設がある素敵な大丸自治会

#### 麓東集落

喜入の中心で、小学校や駅が近く、子どもから大人まで、たくさんの人が笑顔で明るく、にぎやかな集落です。

#### まち町内会

錦江湾の潮のかおりに、八幡川のせせらぎの音が交差する町  
ここは元気なあいさつが飛び交うまち町内会です。





旧市自治公民館



六月灯



麓公民館



六月灯



麓公民館



八幡川清掃



宮地集落研修センター



宮坂神社清掃





湊田集落農事集会所



ふれあいスポーツ大会



旧麓研修センター



七夕飾りつけ



仮屋崎公民館



七夕飾りつけ



野元集落公民館



花壇づくり



領南公民館



六月灯



まち町内会公民館



花壇の手入れ



大丸公民館



竹馬づくり

◎ 各町内会公民館と主な行事の写真を掲載しています。

## Ⅱ プラン策定について

### 1 プラン策定の趣旨

時代の流れは、喜入校区においても他の社会と同じように少子高齢化や人口減少が進み、社会環境が大きく変化してきている。都市化等による社会の変化は、住民の生活様式や連帯意識の希薄化をもたらしているが、これからは地域の福祉や安全面での自助・共助による地域力の再生が求められている。

喜入校区まちづくり協議会では、校区の皆さんの意見を聞きながら、構成団体間の支え合いや協力による地域課題解決、地域資源の活用など喜入校区の良さを生かした地域主体のまちづくりを目指して第2期まちづくりプランを策定した。

### 2 第1期(2017年度~2021年度)の成果と課題

#### (1) 成 果

- ・ まちづくりの指針や方向性が明確になり、住民のまちづくりへの関心が高まった。
- ・ 地域課題解決や年代を考慮した行事への転換を進めてきたことは大きな成果となった。
- ・ 各部会主体によるまちづくりが活発に活動し、役割分担が明確になった。
- ・ 構成団体間の支えや協力による活動が前進しつつあり、地域に活気が戻りつつある。

#### (2) 課 題

- ・ まちづくりはだいぶ浸透してきたが、まだ広報活動が足りない現状がある。
- ・ 構成団体間の連携は図られつつあるが、住民総参加による地域づくりを確立するため、住民の意識改革を図る必要がある。
- ・ 多くの人が事業に参加し係わるようにして、喜入校区のまちづくりを理解し進むべき方向へ導く人材が育つようにしていく必要がある。

### 3 第2期計画の期間

2022年度 ～2026年度（5年間）

### Ⅲ 喜入校区の現状と課題

#### 1 まちづくりについて

##### ○ 現 状

- ・ 喜入校区は「喜び入るまち喜入」と言われ、喜入地域の中央に位置し、交通の利便がよく、校区への愛着及び生活への満足感を抱いている人が多い。  
これらは、青い海、緑の山なみ、のどかな田畑の風景、きれいな空気などから「自然環境がよい」、「のんびり暮らせる」などの理由からであろう。また、校区内には、公共施設や、スーパーマーケット・銀行・マリンピア喜入施設・鹿児島ユナイテッドFC練習場拠点等があることもそのように感じる要因でもあらうと思われる。
- ・ 校区でも少子高齢化の現象がみられる。これからますます進行するであろう高齢化社会に向けて、将来への生活や医療、介護、防犯、防災、日常の生活において、安心して暮らしたいという願望がある。また、便利で快適な生活、そして何より安心して子育てができるまちづくりも願望であろう。
- ・ 校区をよりよい地域にするためには、住民がふれあい交流できる場をつくり、高齢者支援や子育て支援・障害者への支援が重要である。これらの解決に向けては、校区での行事の企画や、関係機関や団体等との連絡調整等が必要と思われる。
- ・ 高齢化や農業後継者の減少により、休耕地や耕作放棄地が増加してきている。自然環境保護の面から、休耕地等の活用の意見がある。また、空き家も多く、茂った草木の処理等について、防犯、防災のうえから不安の声が多数ある。

##### ○ 課 題

- ・ 校区の少子高齢化や昼間の集落の空白化（昼間は、ほとんど子供と高齢者のみが集落に存在している）を感じる。さらには、生活様式の多様化で地域との関係の希薄化が生じてきている。その解消のため、校区の良さを活かしたまちづくりが求められている。
- ・ 地域の環境問題で関心が高いのが、犬や猫のフンの放置である。行政と連携しながら対処してゆきたい。また、ごみ出しマナーの問題は、チラシ等での広報に努めながら住民のモラルを高める取組みが必要である。
- ・ 喜入校区は歴史が古く、史跡や文化財も多い。自分たちの住んでいる地域を学びたいという声が多いので、これについては、成人学級・女性学級やまちづくり文化研修会を活用して取組んでゆきたい。学ぶことも大事であるが、次世代へつなぐ史跡や文化財の見守り、保存方法等への取組みも必要である。



校区ふるさとまつり

- ・ 郷土芸能の保存については、少子高齢化を迎えて集落等単独での保存継承が難しくなっている。
- ・ ふれあいと交流、出会いの場づくりからまちづくりが始まる。住民が楽しく参加できるイベントや生涯学習講座の企画が必要である。イベント等への参加者がさらに参加者を呼び込むまちづくりの一助になればよい。これが基本となり、地域での支え合い、協力態勢づくりが広がることを期待したい。

## 2 社会体育について

### ○ 現 状

- ・ 喜入校区や町内会が主催するスポーツ行事に参加したことのある人はとても少ない。個々にスポーツを楽しんでいる人はいる。
- ・ 社会体育振興について、ニュースポーツ等手軽に多くの人が参加でき、楽しく運動できるスポーツ行事等を望む声が多い。
- ・ 運動をしている場所は、自宅周辺が多く、ウォーキングやランニングが中心である。また、総合運動場、町内会の公民館広場、喜入小学校、マリンピア喜入等では健康維持のため、バレーボール・卓球・バドミントン・水中ウォーキング等を楽しんでいる。
- ・ 校区運動会、校区ソフトボール大会については、「継続する」との意見が多いが、運動会の種目によっては各町内会独自では年代別や小・中学生等チーム編成ができない町内会が半数以上になり苦慮している。
- ・ ソフトボール大会においても若い世代の参加があまり得られてない。各町内会の世帯数に差があるので、ランク分けして対戦するようにしている。



喜入地域相撲大会

### ○ 課 題

- ・ 今後検討したい事業に、高齢化が進む校区の現状から、健康維持にウォーキングの普及等を検討したい。
- ・ 校区運動会については、各町内会の現状から、多くの人に参加できる種目の工夫が必要である。
- ・ ふれあいスポーツフェスタは、第1期では1回しか実施できなかった。ニュースポーツやレクリエーション種目を取り入れ、老若男女多くの住民が楽しくスポーツに参加できるよう工夫したい。

### 3 青少年育成について

#### ○ 現 状

- ・ スマートフォンの所持・使用が多くなり、ゲームを楽しんだり、LINE や SNS で友達と交流し合ったりしている。携帯電話は便利な反面、使用時間が長くなる上、周りの人を傷つけたり、犯罪に巻き込まれたりする危険性もある。
- ・ 青少年問題にはいろいろな要因があるが、個々の価値観の多様化、地域・家庭でのしつけ不足や教育力低下を指摘する声もある。
- ・ 喜入の子どもたちは、よくあいさつをしているが、先にあいさつするようになるともっとよい。一方、大人があいさつしないという声もある。
- ・ あいさつ運動は、地域の人を知ることになり、地域の安心・安全にもつながっている。
- ・ 地域では、夏のラジオ体操や秋の十五夜行事等を実施して楽しんでいるが、少子化で活動の運営に負担が大きくなっているところもある。
- ・ 地域での六月灯には関心が高いが、子どもたちの地域行事に参加しようという意識が低くなり（スポーツ少年団活動や部活動との関わりもある）、保護者も含め、町内会での交流機会（町内会に溶け込もうとする姿）が少なくなってきた。
- ・ 校区住民の多くは、将来の校区を担う子どもたちの健全育成に関心を寄せて、いつでも誰でもできるあいさつや声かけ、見守りや行事への参加など、自身ができる範囲で協力しようと努めている。
- ・ 子どもたちに対して、「周りへの思いやりがある」、「友人関係を大事する」、「マナー・ルールを守る」人になってほしいという思いがある。

#### ○ 課 題

- ・ 子どもの減少で、あいご会等の地域行事の実施が難しくなっている町内会がある。行事を隣接町内会と合同で実施したり、異年齢の交流活動（高齢者に学ぶとか）の場を広げたりすることが求められる。
- ・ 歴史のある喜入校区は、豊かな自然や文化財等に恵まれている。子どもたちが校区をもっと知るように、史跡を見たり、歴史を学んだり、昔の遊びを楽しんだりする機会を広げていくことが求められる。また、地域愛をはぐくむボランティア活動も求められる。



あいご歩こう会

- ・ 未来を担う子どもたちの生き方や成長を見守るために、地域行事や学校行事に参加したりすることも求められる。
- ・ 子どもたちが地域行事に進んで参加していくために、計画を立てさせたり、役割を持たせたりする場が求められる。
- ・ あいご子ども会活動を活性化していくために、中学生のリーダーを育てていくことや、子どものいない家庭の大人が参加していくことが求められる。
- ・ 地域の指導者が短い周期で入れ替わっているので、活動状況をこまめに発信したり、他の町内会で工夫した取組等を共有し合ったりすることが求められる。

## 4 福祉について

### ○ 現 状

- ・ 近所づきあい大切なこととして、「災害時に助け合う」「行事や清掃活動に参加」「相談や助け合い」を考えている人が多い。ふだん深い付き合いをしていなくても、いざとなれば助け合う意識がうかがえる。
- ・ 「高齢者の見守り活動」及び「声掛け運動」は、校区福祉協議会や全町内会で取組みがなされている。
- ・ 福祉部会の中でボランティア活動に参加できる方を紹介してもらい、実働していただいている。
- ・ あいさつ運動は小・中学校の児童生徒や地域の方々との融和を図るうえで大切な取組みになっている。
- ・ 喜入校区グラウンドゴルフ大会は、多くのチームが参加し楽しく競技をしており、継続してほしいという意見が多い。



校区グラウンドゴルフ大会

### ○ 課 題

- ・ すべての町内会で少子高齢化が進んでいる。また独居老人世帯も増えている。校区として、子どもたちや高齢者を地域ぐるみで見守る手立てを考える必要がある。
- ・ プライバシーの意識からか、他人との交流をあまり好まない人が増えている。そのような人たちの意識も大切にしながら、日頃のあいさつだけでも交流を深めるようにしたい。

## 5 安心安全について

### ○ 現 状

- ・ 高齢化が進み、一人暮らしの住民が増えてきたので、災害時の避難体制の構築が必要になってきている。
- ・ 高齢化とともに空き家の増加による様々な問題が発生している。倒壊や犯罪につながる可能性、庭の草木が道路にはみ出し住民の往来に支障をきたすところがある。
- ・ 大きな事件や事故、災害がなく平穏な暮らしができています。
- ・ 子どもたちの通学路は、歩道が設置されているところもあるが、雑草が生えるため年2回の草払いをしてもらっている。しかし、季節によってはすぐ伸びて登下校や住民の通行に支障をきたすところがある。
- ・ 喜入校区スクールガード隊による登下校時のパトロールで、児童生徒の安全が保たれている。

町内会でも防犯パトロールを行っており、住民の安心安全に寄与している。

- ・ 毎年危険箇所点検を行い改善がなされているが、大きな予算を伴うものは思うように進まないところもある。八幡川の川床にたまった土砂の撤去は進んでいる。
- ・ 防災訓練・避難訓練は、それぞれの町内会の実情により訓練内容が違ってくるので、校区全体では行わず町内会ごとに実施している。



校区危険箇所点検

### ○ 課 題

- ・ 空き家対策は、町内会や行政と連携して対応していく必要がある。
- ・ 歩道の雑草の問題は、セメントを張るなどの抜本的な対策が求められる。
- ・ 危険箇所として挙げられたところで未処置の箇所は、まちづくり協議会だけでなく、町内会からも共に要請する必要がある。
- ・ 危険箇所マップは、町内会に絞ったものを作成する必要がある。
- ・ 防災・避難訓練は専門家に来てもらい、災害時の避難等の講習会を行うよう検討したい。



## Ⅳ まちづくりの目標

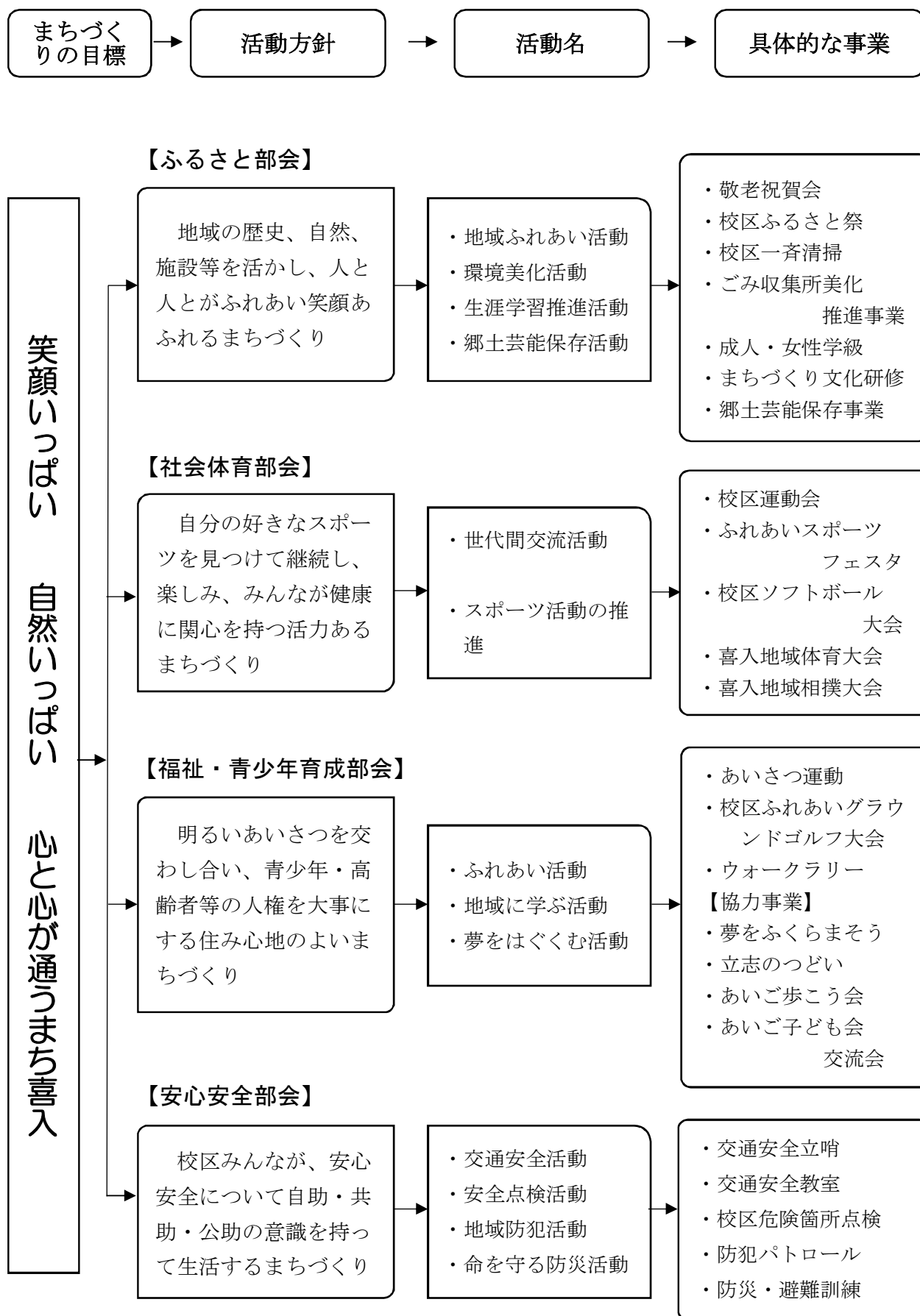
### 1 目 標 <スローガン >

笑顔いっぱい 自然いっぱい 心と心が通うまち喜入

### 2 運営方針

- (1) 住民のつながりや相互の協力関係を大事にし、共に助け合いながら、安心安全なまちづくりを目指す。
- (2) 校区の一人ひとりが夢や希望を持ち、自分の生き方を大切にしながら、お互いに声をかけ合い活気あるまちづくりを進める。
- (3) 役割分担した部会の活動方針にのっとり、積極的な活動を通じて心と心の通い合うまちづくりを推進する。
- (4) 各種構成団体との連携や協調を図りつつ、効率的な事業推進に努める。
- (5) 校区の課題やまちづくりの住民の声を大切にして策定したまちづくりプランに基づき、多くの人参加や協力をもらい、各事業の推進や課題の解決を図る。

### 3 活動の体系図



## V 事業計画

### 1 ふるさと部会

○活動方針 地域の歴史・自然の施設等を活かし、人と人がふれあい笑顔あふ

れるまちづくり

番号	活動名	事業名	事業内容と★効果
1	地域ふれあい活動	敬老祝賀会	<p>75歳以上の高齢者を招待し、これまでの社会への貢献に敬意を表するとともに、住民の代表から長寿のお祝いのメッセージを送る。</p> <p>★ 敬老の日にちなみ、地域に暮らす先輩方へねぎらいと長寿のお祝いの気持ちを伝えることにより、参加者の心の交流と親睦が図られる。</p>
2		校区ふるさとまつり	<p>校区民の作った農産物の即売やレクリエーション、個人やグループで学んだ成果を展示や舞台上で発表する。</p> <p>★ 住民がふれあい交流を深めることができる。</p>
3	環境美化活動	校区一斉清掃	<p>町内会ごとに清掃範囲や作業手順等を決め、住民が分担し美化活動に取り組む。</p> <p>★ 住民参加の清掃により、地域内の美化が図られるとともに、ふれあいや絆が生まれ連帯意識が高まる。</p>
4		ごみ収集所美化推進事業	<p>ごみ出しのルールやマナーが守られるように、立哨や広報活動を行う。</p> <p>★ ごみステーション及び周辺の美化が保たれる。</p>

5	生涯学習推進活動	成人・女性学級	<p>成人・女性学級を開設し社会の変化に伴う必要課題や、学級生の要望、地域の課題を学び合うなど魅力ある学習内容を企画し実施する。</p> <p>★ 社会生活のさまざまな課題について学習する中で、必要な教養や知識技能を習得し、その成果をまちづくりに活かすことができる。</p>
6		まちづくり文化研修	<p>生涯学習の一環として、文化人の講演会等によりまちづくりをはじめ地域住民の教養や文化意識を高める。</p> <p>★ 住民が学ぶことにより、まちづくりのリーダー育成や絆の深まりにつながる。</p>
7	郷土芸能文化活動	郷土芸能保存事業	<p>仮屋崎早乙女踊り・宮地棒踊り・旧麓豊年踊りの保存継承の支援をするとともに、発表の機会を設ける。</p> <p>★ 地域の先人たちが継承してきた芸能を保存することにより、地域の歴史や文化を学び、後世に伝えることができる。</p>

## 2 社会体育部会

○活動方針 自分の好きなスポーツを見つけて継続し、楽しみ、みんなが健康に関心を持つ活力あるまちづくり

番号	活動名	事業名	事業内容と★効果
8	世代間交流	校区運動会	<p>喜入小学校との合同開催で、町内会単位でチームを編成し、住民が気軽に参加できる種目等で交流を深める。</p> <p>★ 和気あいあいの中で、世代間や他町内会との交流を深める。</p>
9		ふれあいスポーツフェスタ	<p>希望参加で、多くの人に参加できるニュースポーツ等を楽しみながら体を動かす。</p> <p>★ 年代にかかわらず、楽しめるニュースポーツ等を通して、親睦を深めながら健康増進が図られる。</p>

10	世代間交流	喜入地域体育大会	選手選考を行い、選手は大会競技に全力で競い合う。また他校区との交流を深める。 ★ 住民が一体となり勝利を目指すことにより、融和と団結が図られる。
11	スポーツ活動の推進	校区ソフトボール大会	各町内会でチームをつくり、チーム力に応じたパートで勝敗を競い合う。 ★ ソフトボールの試合を通して、投げる、打つ、走る、守る運動をしながら町内会の親睦が深まる。
12		喜入地域相撲大会	地域相撲大会に向けて、稽古を重ね日本の国技である相撲の基礎を身につけ、礼儀作法も習得する。 ★ 子どもたちが相撲の基礎を身に付けるとともに、目の前の相手に立ち向かう気力が培われる。

### 3 福祉・青少年育成部会

○活動方針 明るいあいさつを交わし合い、青少年・高齢者等の人権を大事にする  
住みよいまちづくり

番号	活動名	事業名	事業内容と★効果
13	ふれあい活動	あいさつ運動	年間を通して、月ごとに児童生徒の登校帯に合わせて立哨活動（たすきがけ）を実施する。公民館でののぼり旗掲揚や、協議会広報で啓発する。 ★ 子どもたちに声かけすることで、一日の気持ちを高めたり、地域から見守られている安心感につなげたりすることができる。大人への啓発にもつながる。
14		校区ふれあいグラウンドゴルフ大会	町内会でチームを組んでゲームを楽しみながら、町内会間のふれあいを広げる。団体と個人の賞を設ける。 ★ ゲームを通して認め合い、支え合い、励まし合う気風が高まり、運動の継続化と健康づくりにつながる。

15	地域に学ぶ活動	ウォークラリー (新規)	<p>第3土曜日を利用し、大人を入れたグループで、地図を頼りに問題を解きながらコース内の史跡を巡る。時間内にゴールしたかで順位を決める。</p> <p>★ ゲームを楽しみながら、世代を超えたふれあいでコミュニケーションを深め、校区内の歴史や史跡等を知り、ふるさとを守り育てる機運を高めることができる。</p>
----	---------	-----------------	--

【協力事業】

16	夢をはぐくむ活動	夢をふくらまそう	<p>小学校の夢発表（11月県民週間）を参観し後押しメッセージを送る。学校長から教育活動の力点を聞く。</p> <p>★ 将来への夢・希望を持って努力していく姿に寄り添うことで、自分の考えを持って、よりよく生きようとする力になる。</p>
17		立志のつどい (校区社会福祉協議会主催)	<p>中学2年生が、将来への生き方を自ら拓いていくため、自分を見つめ志を立て、周りへの感謝を持つ機会とする。</p> <p>★ 夢・目標の実現に、困難を乗り越えていく努力を後押ししていくことで、生徒たちの挑戦意欲を高めることができる。</p>
18	地域に学ぶ活動	あいご歩こう会 (校区あいご会主催)	<p>11町内会を年毎に輪番で歩き、有識者からの歴史の説明を受け、学ぶ。</p> <p>★ 身近にある歴史を知ること、校区のすばらしさに気づき郷土愛をはぐくむ。</p>
19		あいご子ども会交流会 (校区あいご会主催)	<p>スポーツでの交流とあいご子ども会活動の情報交換を行う。</p> <p>★ 異年齢との交流を深め、思いやりの心を持ち、他のあいご会の活動を知り、継続していくことの意味や地域とのつながりの大切さを知る。</p>

#### 4 安心安全部会

○活動方針 校区みんなが安心安全について自助・共助・公助の意識を持って生活するまちづくり

番号	活動名	事業名	事業内容と★効果
20	交通安全活動	交通安全立哨	<p>関係機関・団体と連携を図り、交通安全運動期間に合わせて、主な交差点等で立哨を行う。</p> <p>★ 立哨により、児童生徒や地域住民の交通安全への意識の高揚と校区内を通過する車のドライバーの注意喚起につながる。</p>
21		交通安全教室	<p>いろいろな会合等の機会を活用して、交通安全について、実技講習や講話、映像等による学習を行う。</p> <p>★ 自動車の運転や道路の歩行、自転車の乗り方など交通安全に対する地域住民の意識が高まる。</p>
22	安全点検活動	校区危険箇所点検	<p>町内会から挙げられた道路標識や標示設備、立木などの危険箇所を点検し、改善対策を検討する。</p> <p>★ 校区の危険箇所を明確にし、改善対策を自助・共助・公助に区分して迅速に改善することにより、被害を最小限にとどめることができる。</p>
23	地域防犯活動	防犯パトロール	<p>各町内会のパトロール隊や喜入校区スクールガード隊が、地域内をパトロールすることで青少年や住民の犯罪被害を防ぐ。</p> <p>★ 昼夜の防犯パトロールで、青少年の非行防止や犯罪等の被害防止につながるとともに、地域の防犯意識の高揚が図られる。</p>
24	命を守る防災活動	防災・避難訓練	<p>各町内会が実施する防災訓練の内容や方法を把握し、情報を共有する。</p> <p>★ 各町内会の防災訓練・避難訓練の情報を共有することで、訓練の質の向上と助け合いや命を守る意識の高揚が図られる。</p>

# VI 資料

## 1 プラン策定の経過

### 令和2年度

9月17日(月)	第1回プラン策定委員会	第2期プラン策定の概要
11月9日(月)	第2回プラン策定委員会	第2期プランの内容・スケジュール 住民からの意見聴取方法の決定 事業反省
1月25日(月) ～2月17日(水)	各部会	
1月18日(月) 2月～3月	第3回プラン策定委員会	協議会の運営について反省 各町内会での意見聴取(アンケート等)

### 令和3年度

約

6月14日(月)	第1回プラン策定委員会	各町内会からのアンケート配布、回収、集
6月15日(火) ～7月15日(月)	各部会	現状と課題の協議
7月12日(月)	第2回プラン策定委員会	校区の現状と課題の協議
9月13日(月)	第3回プラン策定委員会	校区の現状と課題掲載方法の決定 まちづくりの目標・運営方針の提案 まちづくりの目標・運営方針の決定
11月15日(月)	第4回プラン策定委員会	校区の現状と課題の決定 喜入校区の概要・事業計画の提案 校区内写真撮影
1月～2月		プラン全体の承認・決定 印刷所の決定
2月14日(月)	第6回プラン策定委員会	印刷所入稿
3月1日(火)		納品
3月26日(土)		

## 2 プラン策定委員会委員名

委員長	勝目育男
副委員長	諸留伯
委員	緒方正弘
〃	日高道雄
〃	福宮勲
〃	藤田俊朗
〃	堀奉文
〃	上籠末廣
〃	堀之内薫
〃	橋口陽一
〃	丸山淳一
〃	西山秀一

委員	石口武士
〃	四ッ永知明
〃	對馬久男
〃	地頭菌一徳
〃	瀬戸下千恵子

### 令和2年度

委員	栗脇一俊
----	------



## 第2期 喜入校区コミュニティプラン

令和4年3月発行

喜入校区まちづくり協議会

〒891-0203

鹿児島市喜入町7108-1

Tel Fax 099-345-1760

### ◎事務局の開室時間

月曜日 午後1時～午後4時

水・金曜日 午前9時～午前12時

第1・3土曜 午前9時～午前12時